

## 令和2年度当初予算編成方針

- 1 県民主役、徹底現場主義、市町協働による県政推進
  - ・ 県民参加による「県民会議」により既存事業をゼロベースで見直し、その意見を予算編成に適切に反映
  - ・ 徹底現場主義の観点から、県民のニーズを的確に把握し、新たな行政課題に対応
  - ・ 予算編成過程において、市町と十分な協議、情報交換を行い、市町と一体となった施策の展開
  
- 2 新幹線開業対策やひとづくり・まちづくりなど福井の未来を切り拓く施策の推進
  - ・ 長期ビジョン（素案）に掲げる各分野の政策を、福井らしさを活かして具体化
  - ・ 4年後に迎える北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を最大限に引き出すため、「北陸新幹線開業対策加速化プラン（仮称）」による施策の実行
  - ・ 「ふくい創生・人口減少対策戦略」、「子ども・子育て支援計画」、「教育振興基本計画」など各種計画の着実な実行
  
- 3 国の予算編成への的確な対応と行財政改革の継続実行
  - ・ 国の予算編成の動向について情報収集・分析を徹底し、的確に予算要求に反映
  - ・ 「行財政改革アクションプラン」に基づく改革を着実に実施し、中長期的な健全財政を維持
  - ・ 「政策トライアル枠予算」において実施した事業の効果を検証・評価し、予算に適切に反映
  - ・ 令和最初の本格予算編成であることから、より徹底した事業のスクラップ&ビルドを実施し、新規事業の財源を確保

### 【要求基準の設定】

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| (1) 経常的経費 | 100%以内                    |
| (2) 政策的経費 | 100%以内                    |
| (3) 投資的経費 | 国の予算や地方財政計画等を踏まえ、予算編成時に決定 |